

みさき

24号

美咲町議会だより



みんなの思いよ届け!!



主な内容

議会の新体制決まる ②

23年度予算内容を審議

予算委員会からの報告

⑥～⑦

新年度の政策などをたず

議員15人が一般質問

⑧～②②

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます 一日も早い復興をお祈りいたします

議長めぐろし

東日本大震災発生から二カ月が経過する中、あらためて被害の大きさを思い知らされております。

被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。亡くなられた皆様に哀悼の意を表します。

被災地で続く捜索活動は長期化し、死者・行方不明者の総数は二万八千人を超えるとも言われており、いまだ被害の全容は分からない状況であります。

また、震災に伴う原発事故で多くの方の避難生活が長期化しています。

本町からは、早々に義援金三百万円、美咲町議会として二十一万円を送りました。

また、町民皆様方から多くの救援物資・支援金をご協力いただき、四月二十五日現在で一二三万円という多額の義援金が寄せられました。議会を代表して厚くお礼申し上げます。

今後は、政府において、震災の復旧・復興に全力で立ち向かっていただくことを期待すると共に、国民全体で復興支援に協力していかなければなりません。

町民皆様のさらなるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

議会の新体制決まる

議長に三船勝之氏

副議長に岡田壽氏を選任

4月25日臨時議会を開催し、申し合わせによる2年任期満了に伴う役員改選を行った。

議長

三船勝之



副議長

岡田壽



正・副議長

就任あいさつ

このたびの美咲町議会臨時議会において、議長に三船勝之、副議長に岡田壽が選任されました。議員各位のご指導・ご協力を仰ぎながら、微力ではございますが、新たな決意で円滑な議会運営、そして議会改革に臨み、本町の発展のため全力を尽くす所存でございます。町民皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

総務常任委員会

◎委員長 ○副委員長

◎貝阿彌 幸善
○金谷 高子

◎松島 啓
○染山 朝子
◎下山 和由

民生教育常任委員会

◎草苺 良明
◎岩野 正則
◎山本 宏治
◎日神山 定茂

産業建設常任委員会

◎林田 実
◎日神山 定茂
◎江原 耕司
◎松島 啓

議会運営委員会

議会選出監査委員

◎貝阿彌 幸善
◎角南 憲一

3月定例会の報告

3月8日から25日まで

定例会が招集され、22年度補正予算及び23年度一般会計当初予算など予算47件、条例3件、その他3件の議案が上程された。

条例の改正など

条例の改正などが上程され、審議の結果承認した。主な内容は次のとおり。

保険料軽減措置を
継続

〔全会一致〕

◎国民健康保険税条例
を一部改正

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被用者保険の被扶養者から国民健康保険となった者にかかる保険料は、2年間に限り軽減措置を行うことになった。これを後期高齢者医療制度が廃止されるまで継続する。

高校生医療費無料
化を3年間継続

〔賛成多数〕

◎乳幼児及び児童・生徒医療費給付に関する条例を一部改正

高校生への医療費給付は23年3月末で終了する予定であったが、保護者の経済的負担を軽減するため26年3月末まで給付期間を延長する。

老人保健事業特別
会計を廃止

〔全会一致〕

◎特別会計条例の一部
を改正

老人保健医療制度の後期高齢者医療制度への移行が完了したため、老人保健事業特別会計を廃止する。

三休公園の管理者
を指定

〔全会一致〕

◎公の施設に係る指定
管理者の指定

「三休公園民話村」「三休公園民話館」「アジアの民話館桜湖邸」の施設管理業務を「企業組合旭さくら会」へ指定管理で委託する。期間は24年3月末まで。

◆討論

乳幼児及び児童・生徒医療費給付に関する条例改正案に対する討論

反対討論

松田英二議員

この条例は、乳幼児および義務教育下における子どもたちを保護するための条例であり、義務教育を受けさせるために必要な施策である。

しかし、高校生に成長した段階においてまで保護する対象とすべきではないと考える。むしろ、保護しなければならぬ人たちの保護していく立場での考え方を指導していくべきであろう。

鏡野町では「発達障害支援体制整備事業費百八万円」を予算化した。高校生への医療費を高齢者・障害者を支援するための予算として配分すべきとの考え

賛成討論

松島 啓議員

からこの条例改正案に反対する。

障害者への支援は当然のことである。ただ、高校生への医療費扶助は景気低迷下における保護者の経済的負担を軽減することを目的とした政策である。

少子化対策、子育て支援の観点からも必要な施策であるとの考えから条例改正案に賛成する。

賛成討論

小島洋征議員

国の経済白書によると国民の消費行動の中で最も伸び率が高いのが教育費である。特に若い子育て世代の経済的負担は年々増加し家

計を圧迫している。

子ども手当と同様に本来は国が行うべきことであるが、それができない現状であれば地方行政が課題解決を図るべきとの考えから条例改正案に賛成する。

◆採決の結果、乳幼児および児童・生徒医療費給付に関する条例改正案は賛成多数で可決。詳細は左表のとおり。

金谷議員	賛成
松田議員	反対
江原議員	賛成
林田議員	賛成
岩野議員	賛成
梁山議員	賛成
角南議員	賛成
山本議員	賛成
小島議員	賛成
草苺議員	賛成
松島議員	賛成
日神山議員	賛成
岡田議員	欠席
下山議員	賛成
貝阿彌議員	賛成

請願・陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

無年金・低年金者に緊急措置を求める意見書の採択を求める請願

(紹介議員：染山朝子)

「民生教育常任委員会付託」

全日本年金者組合

岡山県本部

委員長 東都支男

全日本年金者組合

美作支部

委員長 葛原 智

趣旨は理解できるが、現在の年金制度に矛盾点もある。よって、全会一致で**趣旨採択**とした。

年金受給資格期間の短縮を求める意見書の採択を求める請願

(紹介議員：染山朝子)

「民生教育常任委員会付託」

安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情

全日本年金者組合

岡山県本部

委員長 東都支男

全日本年金者組合

美作支部

委員長 葛原 智

受給資格を満了した人との不公平感を助長することになり賛成少数で**不採択**とした。

「岡山県医療費公費負担補助制度」低所得者1・2の自己負担軽減についての陳情

NPO法人

岡山県腎臓病協議会

理事長 山口 晋

本町独自の自己負担軽減措置は引き続き必要であり、賛成多数で**採択**とした。

狩猟資格習得についての要望

岡山県猟友会津山支部

中央分会長

三船知之

有害鳥獣対策として必要なことであり、全会一致で**採択**とした。

美作材需要拡大についての要望

執行委員長

福田幸恵

医療・介護の抜本改善は不可欠であり、全会一致で**採択**とした。

県北における医療型短期入所サービスの整備・充実に関する陳情

美作材振興協議会
会長 難波芳英

森林整備の重要性を考慮し、全会一致で**採択**とした。

建築工事の指名及び落札予定金額の適正化についての要望

美咲町建設業協会
建築部会

旭支部長 福島一壽

中央支部長 黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

黒瀬幹夫

議員発議

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

医療、社会保障予算を増やし、医師・看護師・介護職員などの大幅な増員を図り安全・安心な医療・介護を実現すること。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

県北における医療型短期入所サービスの整備・充実を求める意見書

重度心身障害者と介護者の負担を軽減し、支援体制を整えるためにも県北地域における医療機関が行う短期入所サービスの整備・充実を早期に実現すること。

県産材の需要拡大施策と水源林への「おかやま森づくり県民税」の積極的投入を求める意見書

岡山県の水源地としての役割を担っている県北源流地域の機能維持向上のため「おかやま森づくり県民税」を使用した各種施策の充実・拡大を図ること。

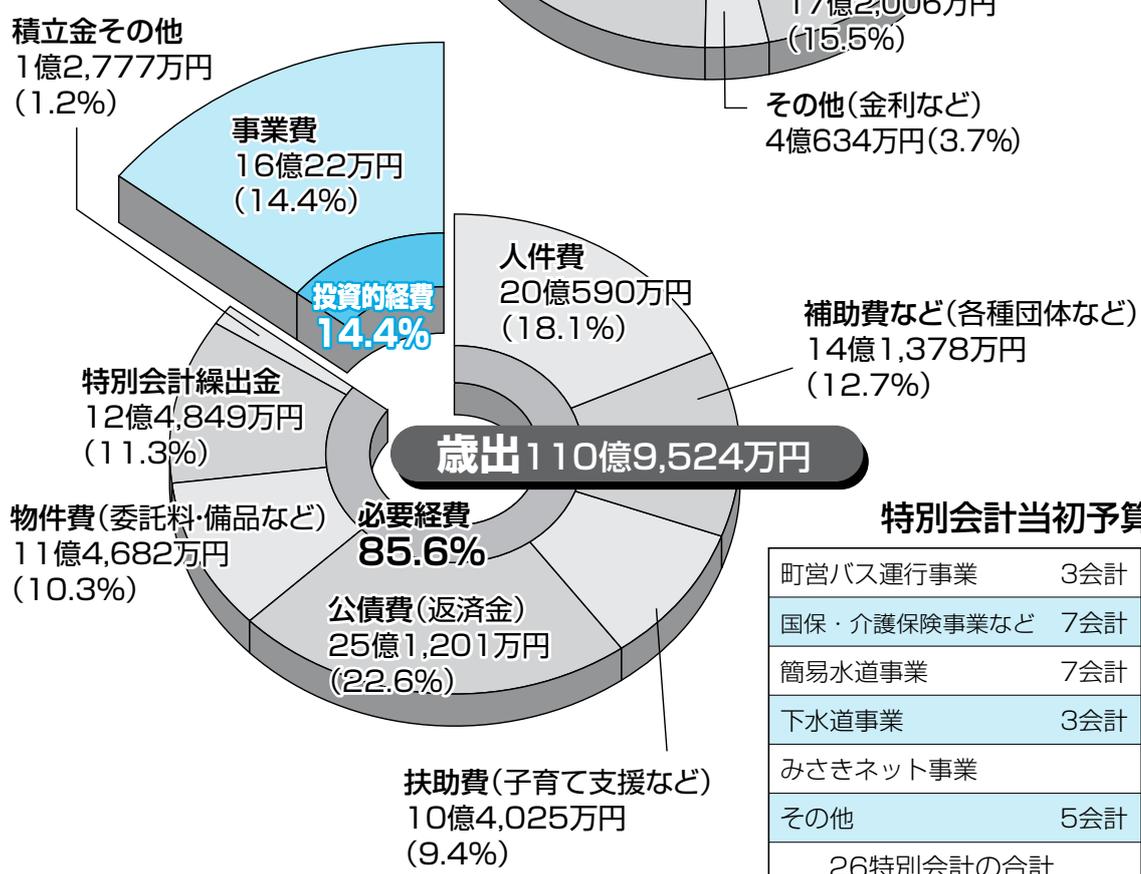
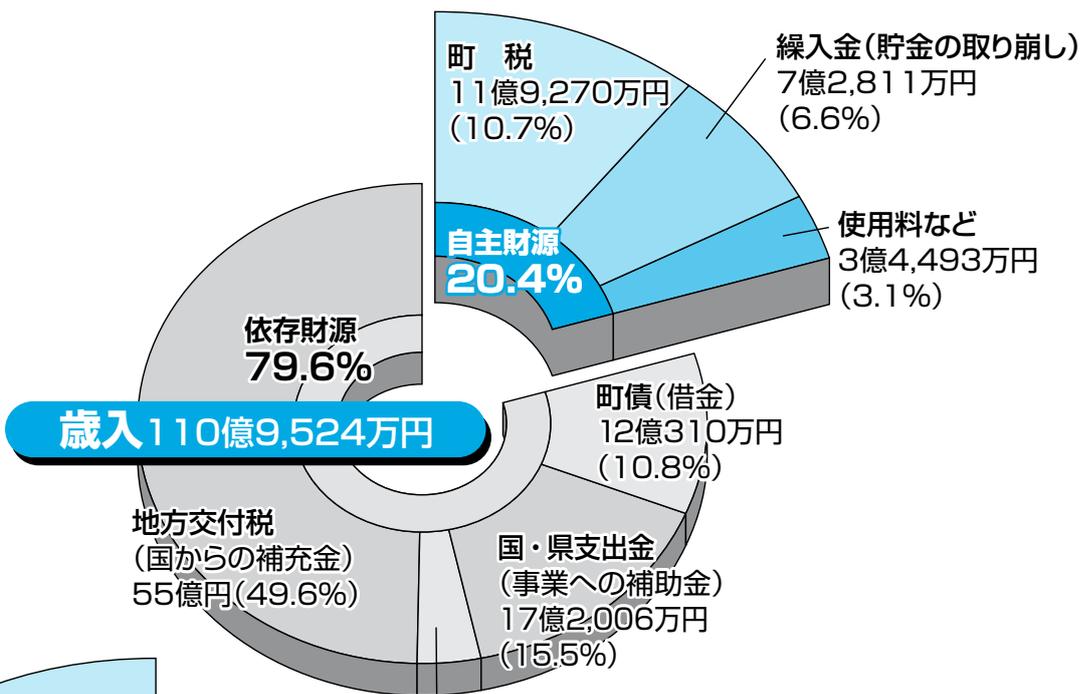
これら内容を強く求める意見書を岡山県知事に対して送付した。

● 23年度当初予算

福祉と教育に重点の予算

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比1.4%増 一般会計 110億9,524万円
 前年度比3.6%増 26特別会計 60億4,284万円



特別会計当初予算の内訳

町営バス運行事業	3会計	6,744万円
国保・介護保険事業など	7会計	41億1,913万円
簡易水道事業	7会計	6億9,578万円
下水道事業	3会計	9億4,539万円
みさきネット事業		1億4,740万円
その他	5会計	6,770万円
26特別会計の合計		60億4,284万円

予算決定の手順をより明確に

予算特別委員会(3月14日・15日)

23年度一般会計および特別会計の審査を行った。

町の現状は景気低迷により、町民税、固定資産税などの自主財源の増加は見込めない。一方で中央中学校建設などの大型事業が進んでいる現状である。

23年度一般会計当初予算は、前年度比1.4%増の百十億九千五百二十四万円。大きな事業は▽中央中学校の建設に約十一億八千万円▽月額一万三千円を支給する子ども手当に約三億円などである。

収入は、自主財源と地方交付税など。財源の不足は十二億円強の町債(借金)で埋めている。必要性の高い事業に投資とはいえ、将来的に負担が増大する。借り入れには有利な方法を求めた。

26特別会計の総額は、前年度比3.6%増の六十億四千二百八十四万円。一般会計からの繰出金は総額約十二億五千万円にも上り、財政硬直化の一因でもある。繰り出しの大きなものは、国民健康保険、介護保険、簡易水道・下水道事業である。

一般会計および独立採算が基本の特別会計を含めて、財政の問題には計画的に取り組みむ必要に迫られている。

①予算決定の手順をより明確に②特別会計への繰出金の引き締め強化③補助金の総点検④大戸下消防機庫建設は問題点の早期クリア⑤富田基金活用の研究などの点に十分留意した予算執行を求める。

予算特別委員会

主な質疑応答

【総務課】

問 大戸下消防機庫の移転新築費用として千七百万円が計上されているが、消防団・地区との協議はしたのか。

答 していない。建設地は町有地が適していると思われるが、今後消防団・地区と協議する。

問 旭地域では消防機庫の用地は地元が提供していたが、今後の考え方は。

答 町有地がベストであるが、基本は借地をしないこと。

【企画財政課】

問 地域生活総合支援助事前調査費五百万円の内容は。

答 過疎化・高齢化が進む地域に対し

てどのような支援が必要かを調査する費用。

問 特別会計への一般会計からの繰出金が増大している。引き締めを。

答 特に国民健康保険、介護保険への繰り出しが大きくなっている。

問 緊急雇用事業交付金による雇用人数は何人確保できるか。

答 23年度は34人の雇用を予定。取り組み内容は13事業にわたる。

【健康増進課】

問 独り暮らしの高齢者などの生活を支援する安心生活創造事業、サポーターの存在を知らない高齢者が多くいるが。

答 広報活動に努力していく。

【住民課】

問 留町奨励金百万円の内容は。

答 学校卒業後に町内へ居住する若者に対して3年間で十万円を支給する。

問 国の予算関連法案が成立しない場合の影響はあるか。

答 子ども手当の支給に大きく影響するが、いまだ国から指示がない。

【上下水道環境課】

問 資源ごみ集団回収推進団体奨励金二百万円とは何か。

答 町内で活動する社会貢献団体、例えば婦人会、子供会などが行う廃品回収に奨励金を支払う。紙類・缶類を対象に1キログラムに対して五円を支払う。

問 中央簡易水道と柵原北部簡易水道の2会計を合わせた水の購入料金は一億二千六百万円と高額だ。も

常任委員会報告

財政調整基金に 3億円積み立て

一般会計補正予算案などを各常任委員会で審査した結果、全会一致で承認した。

- 後期高齢者医療費 千八百二十万円減
 - 特別養護老人ホーム 吉井川荘負担金 二千九百九十九万円減
 - 町道改良事業費 七千六百四十万円減
 - 中央中学校建設費 四千五百七十七万円減
 - 公債費 千二百万円減
- ◎ 特別会計補正予算
国民健康保険事業特別会計など18会計は、事業の実績見込みなどによる増減。

つと安くならないか。

【答】 広域水道企業団との協議で決定されるが、今後交渉していく。

【建設課】

【問】 美咲町中山間地域総合整備事業の内訳は。

【答】 農道、圃場、防災事業など総額18億円を想定。24年度実施計画、25年度申請、26年度から工事を予定。旭地域五億円、中央地域六億五千万円、柵原地域七億千万円の配分。

【答】 使用規定の見直しを行う。4月から運用方法を変更する。

【問】 片鉄沿線バス協議会からの脱退で住民に影響はないか。

【答】 利用者も年々減少傾向にあるため町の支所間バスの運行範囲を延長して住民に不便のないよう努める。

【保健福祉課】

【問】 介護保険特別会計の予算総額が20億円を超えた。運営は大丈夫か。

【答】 今後も負担は増大する見込み。努力する。

【問】 国民健康保険は広域化が予定されているが、制度改正までの運営に支障はないか。

【答】 国保税の収入は伸びない。基金の取り崩しなどで対応するが、難しい状況にかわりはない。

【生涯学習課】

【問】 夢咲クラブ・スポレク柵原など総合型スポーツクラブ育成の方針は。

【答】 将来的には自立を目指してほしい。

【教育総務課】

【問】 富田基金の活用策として町内全戸に体温計を配布するところがあるが、もっと研究の余地があるのでは。

【答】 教育に図書購入、福祉に体温計の配布が審議会から答申された。

【産業観光課】

【問】 特産品の振興策は進んでいるか。

【答】 JAとの協議が必要では。

【問】 黄ニラ・アスパラガスなどを推進していく。JA普及センターとも方策を考えた。



新鮮な野菜がいっぱい（美咲町物産センター）

◎ 一般会計補正予算

歳入歳出から七千五百七十四万円を減額し、総額を百二十億三百四十四万円とするもの。

【主な歳入】

- 国庫支出金 千七百九十九万円
- 県支出金 千百九十九万円減
- 繰入金 一億千六百六十万円
- 町債 二億百万円減

【主な歳出】

- 財政調整基金積立金 三億円

【情報交通課】
【問】 町が所有するマイクローバスの使用で苦情が出ている。善処できないか。

問

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

育児アドバイスの強化を図れ

さらなる体制強化を

進める

答弁



草苅良明 議員

問

赤ちゃんの発育状況の見守りと母親の育児相談が随時できれば、言葉の話しないうちで安心して安全に育児ができる。その体制は整っているか。

答

村島健康増進課長 保健センターでは、新生児宅に保健師が家庭訪問している。また、乳児検診離乳食教室・妊婦育児相談など企画しており利用促進を図る。今後も、子



おにいちゃんも育児のアドバイス

問 どもたちが健やかに成長できるように努力を続ける。高齢者への交通事故など防止策は考えているか。

答 各小学校・PTAなどで廃品回収を実施し、少しの対価で子どもたちの備品購入の足しにしている。

問 定本町長

65歳以上の人、全員にLED照明ライトを配布し、安全確保に努めていく。

廃品回収による環境教育に支援を

問

各小学校・PTAなどで廃品回収を実施し、少しの対価で子どもたちの備品購入の足しにしている。

答 23年度から廃品回収に奨励金を交付する要綱を定めた。子供会・老人会・婦人会などの組織を対象に紙類、アルミ・スチールなどの缶類を対象に1kg・五円の奨励金を交付する。新年度予算には二百万円を計上している。

吉ヶ原駅舎への

撮影誘致は

問

松本清張の小説「砂の器」のテレビ収録があり、美咲町の近代遺産の宣伝ができた。

また吉ヶ原地区の皆さんからの心温まるもてなしにより、スタッフの皆さんに大変良い印象を与えられた。今後の撮影誘致の方向性は。

問 定本町長

一過性のものではなく継続できるように、片上鉄道保存会など関係者の皆さんと共にサポートし守って行きたい。

戸別所得補償制度の周知を徹底せよ

問

22年産米作付けに10アール当たり三万円の加算があり、町内の農家に二億円程のお金が振り込まれた。

23年産米においても作付け報告書と戸別所得補償制度申告書の提出徹底を農家に指導せよ。

答

矢木産業観光課長 今年本格実施であり、面積割合100%に向けて努力する。

町政を

質問

課題解決に向けた
新年度の政策は

各種の政策を

積極的に推進

答弁



下山和由 議員

問 農・産業振興への今後の取り組みとして、農地荒廃の防止対策と特産物の販売強化、後継者の育成対策は。

答 定本町長
今後、農業公社が全町において農作業受託できるように、中核農家をお願いしていく。また、第三期目に入っている中山間地域等直接支払い制度でも取り組んでいく。

特産物の販売強化としてピオーネ生産拡大

に昨年と同様に箱の無償提供をしていく。米の消費拡大には3kgと5kg袋を農家に配布し美咲町の宣伝をお願いできたらと考えている。

問 町分譲地の販売促進の努力と地場企業の育成、商店の活性化対策は。

答 定本町長
うたのしも団地は2月末現在で40区画中35区画の申し込みがある。大戸下・王子団地は問い合わせがない。今後は公共用地などの活用を考えている。

地場企業の育成、商店の活性化は、町内でできるものは町内に発注する仕組みを考案中。

問

町の人口減少への行政としての対応は。

答 定本町長
17年度から5年間で約千人減少している。

増加させるのは無理としても、現在の人口の維持を図ることが現段階では必要と考えている。

火災報知器

普及の対策は

問

火災報知器は本年6月より全世帯に設置が義務付けられる。普及に向けてどう対応するのか。現在の普及率は50・7%であるが、高齢者宅を中心に火災報知器の無料配布ができないか。

増加させるのは無理としても、現在の人口の維持を図ることが現段階では必要と考えている。

答

杉山総務課長
広報、告知放送、みさきテレビなどで周知していく。

答

定本町長
近隣市町村では火災報知器を無料配布しているところがある。所得制限を視野に入れながら検討していく。

家畜伝染病への対策は

問

町内には美咲ファームなどの養鶏場が立地している。鳥インフルエンザに対する企業との連携や関係機関との協議はできているか。

答

矢木産業観光課長
津山家畜保健衛生所から養鶏場に対して異常時の早期発見、情報の徹底指導、他県の情報提供が行われる。町においても同様の意識統一を図って対応する。



残りわずか 好評分譲中 (うたのしも団地)

質問 鳥インフルエンザへの対応は

県と協力し 防疫体制を強化 答弁



日神山定茂 議員

問 昨年11月、島根県安来市で発生以来、8県で高病原性鳥インフルエンザが発生し計150万羽が処分された。鳥インフルエンザが確認されると、半径10キロメートル圏内で搬出制限区域が設定される。

思うが、一般の家庭で飼育している鳥、野鳥などで異常が発生した時、どのような対応をしているのか。地域から鳥インフルエンザを発生させない企業・地域・行政一体となった取り組みが必要では。

町内10キロメートル圏内に6農場約200万羽、近隣市町村を含めると14農場240万羽が飼育されている。養鶏業者はできる限りの対応をしていると

答 小規模飼育農家には防疫パンフレットを郵送。町内で死亡野鳥の連絡があった場合、状況・場所を確認し、現場周辺を消毒、死亡野鳥を岡山県家畜保健衛生所へ送って検査するという防疫体制をとっている。

一般の少数の鳥の飼育は把握できていない。全戸に告知放送など

で知らせる方法により注意している。

16年前、阪神淡路地方を襲った大地震で多数の死者と負傷者を出した。町でも過去に集中豪雨で犠牲者を出し、地域が孤立した。建設業協会と防

答 町内の三協会長の支持のもとに、重機・人員の配置などお願いしている。避難経



最新の設備で安全性を確保 (美咲ファーム)

災害への備えは 万全か

問 16年前、阪神淡路地方を襲った大地震で多数の死者と負傷者を出した。町でも過去に集中豪雨で犠牲者を出し、地域が孤立した。建設業協会と防

答 町内の三協会長の支持のもとに、重機・人員の配置などお願いしている。避難経

路の確保については、残土処分場を準備し対応する。水・食料品は会社・商工会などに支援をお願いするよう進めていきたい。

問 公共工事の減少により建設業者が弱体化、災害時での対応に支障ができていないのか。町内業者の育成を。

答 美咲町では心配ないが、今後町内でできる仕事は町内の業者にお願したい。

入札で不調になったと聞くが、物件の図面仕様等入札に十分な準備はできていたのか。

答 池上旭総合支所長 一件は商工会から提案があり、提出された図面を基に町の単価を入れて入札した。不備はないと思う。

議員は病気見舞金を出すことが禁止されています。

質問

23年度当初予算の編成方針は

住民福祉の向上に

重点

答弁



角南憲一 議員

減少している。何が原因で減少しているのか調査を実施すべきである。

答 定本町長 人口減少がそのまま交付税に反映されるものではない。当然激変緩和措置もある。

える普通地方交付税が減額される。また、死亡などが考えられない六十歳以下の人口が一、二八五人

しかし、合併から10年経つと交付税が一本算定になるなど、財政見通しは厳しいものとなる

る。指摘された人口の減少原因についてもしっかりと究明したい。

35億円の巨費を投じたラストワンマイルの評価は

問 巨費を投じた反面、大変不人気で評判の悪いものだが、どのように評価しているのか。

答 定本町長 合併当初、各市町が取り組んだ事業である。美咲町だけが取り組みをしないわけにはいかない事業であった。

電話帳については、掲載可能かどうか、個々の確認と、加入者が増加するたびに、やり直す問題もあり、足りず問題もしている状態である。

問 7月から地上デジタル放送に移行するが、美咲町は地形が悪く、各地域で共同受信する設備を持っている。その運営費は一戸あたり年間六千円前後である。

答 定本町長 町の利用料金は高いのではないかと。近隣市町村と比較して、テレビが月額千円は安いと思っ

答 定本町長 みさきネット事業特別会計に、維持管理費として、七千五百万円の巨費を年間に補填しているが、今後どうするのか。

問 機能の充実した携帯電話が普及したことで、当初によく故障したことが考えられる。

答 定本町長 町内通話が無料となるIP電話が、なぜ全戸に普及しないのか。

電話帳がないのも要因ではないのか。

問 町内通話が無料となるIP電話が、なぜ全戸に普及しないのか。

電話帳がないのも要因ではないのか。

答 定本町長 機能の充実した携帯電話が普及したことで、当初によく故障したことが考えられる。

入促進して継続したい。

問 昨年12月の定例会で、夢とロマンのある当初予算を期待して質問を終えた。岡山県は夢と元気の予算案だが、本町予算のネーミングは。

答 定本町長 人づくり、地域づくりと健康づくりの予算案である。住民福祉に努力したい。

問 別表のとおり、5年間で千人を超える人口の減少であり、一人あたり二十万円としても二億円を

超える人口の減少であり、一人あたり二十万円としても二億円を

平成17年10月				平成22年10月現在			
年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0～10	721	662	1,383	0～10	667	600	1,267
11～20	835	814	1,649	11～20	698	667	1,365
21～30	907	803	1,710	21～30	742	680	1,422
31～40	820	777	1,597	31～40	899	771	1,670
41～50	946	883	1,829	41～50	764	778	1,542
51～60	1,332	1,245	2,577	51～60	1,171	1,096	2,267
61～70	1,116	1,251	2,367	61～70	1,205	1,212	2,417
71～80	1,182	1,570	2,752	71～80	1,055	1,383	2,438
81～90	383	859	1,242	81～90	508	1,096	1,604
91～100	59	189	248	91～100	50	201	251
100以上	1	1	2	100以上	0	7	7
合計	8,302	9,054	17,356	合計	7,759	8,491	16,250

美咲町年代別人口集計・推移表

質問

米の粉の活用策に

努力を

消費拡大に向けて

特産化を目指す

答弁



山本宏治 議員

問

旭地域北地区に開所した米の粉製粉所を地域の活力源にして地産地消に力を入れてはどうか。

倭文西地区の有志がパンを焼いて販売中であるが、今後の活用方法はどうか考えているのか。

答

矢木産業観光課長

米の消費拡大に取り組み、県・美作地域の市町村・農協・商工会などで組織する「フードアクション美作」などの協議会で米

粉の促進を検討中である。食堂かめつちのピザ釜の活用を考えている。

答

定本町長

米粉消費拡大に向けて緊急雇用で専門家や1名雇用の予定である。学校給食にも利用したい。製粉に対する補助金については検討する。

問

米粉の消費拡大に向けて担当者に特産化を指示する。

答

水田活用の戦略

米粉用の作付けを推奨できないか。

答

米粉ブームであり、先進地の意見も取り入れて産地間競争に



米の消費拡大に期待を (倭文西パン工房 やまて)

負けないように考える。

質問

さくらグラウンド周辺に

メガソーラー誘致を

答弁

企業への働きかけも考える

本町は新エネルギーである太陽光発電メガソーラーを旭地域のさくらグラウンド周辺に

町有地を利用して誘致できないか。

答

赤堀上下水道環境課長

県のメガソーラー適地選定は、県内10カ所程度が候補地として選定される。最大一億円の県の補助が受けられるが、1.5ha以上の町有地が必要となる。現在、町内の3カ所を県に申請している。

答

定本町長

県の施設誘致ができない場合には、電力会社など企業への働きかけを考えていきたい。

答

池上旭総合支所長

旭地域は雇用の場も少なく、雇用確保の観点からは最適と思われる。

環境面でも施設があれば学校教育にも役立てることができる。

質問 人、地域、健康づくりの具体策は

各種の施策を積極的に展開する

答弁



松島 啓 議員

問 町長は、新聞の新春インタビューで、『人づくり 地域づくり 健康づくり』のまちづくりを推進したいとのことであった。その具体策は。

答 定本町長 人づくりについては、22年の国民文化祭においてそれぞれの地域で皆さんが活躍された。この機運を大切にしたい。

また、町職員の研修など積極的に行う。健康づくりについては、国保加入者で40歳以上を対象に特定健診を22年度から無料にし

ている。また、23年度からは大腸がん検診を無料にする。

高齢者の生きがいづくりは、老人クラブ、シルバー人材センターなど各種団体の皆さんに活躍していただいている。今後、生涯教育と連携をとり、講演・講座など行いたい。また、旭地域に本年度農産物の直売所がで

きる。自分で生産してそれを販売する喜びを味わっていただけると思う。

消防機具庫跡地を有効活用せよ

問 消防団の機庫改革で、廃部になる消防機具庫の跡地利用、維持管理の考え方は。防災センター、自主防災組織、地域活性化の拠点施設として有効活用を。

答 定本町長

消防団機庫改革で、14分団37部から8分団32部となった。跡地利用は、地域の防災組織、また地域のために活用していければと考えている。要望があれば対応したい。

また、統合で手狭になった機具庫、老朽化などで建て替えが必要な機具庫の建設計画は。

また、統合で手狭になった機具庫、老朽化などで建て替えが必要な機具庫の建設計画は。

また、統合で手狭になった機具庫、老朽化などで建て替えが必要な機具庫の建設計画は。

協働のまちづくりの支援策は

問 合併以来進めてきた協働のまちづくり。自治会制度を確立し、住民主導のまちづくりへと変わりつつある地域もある。その中で、地域差もあるのではないか。そこを町がどのように支援して

いくのか。

また、地域の賑わいを創出する「提案型まちづくり事業」。22年度は、3地区しか応募がなかった。23年度は、全地区が応募できるように事業の効果など説明すべきでは。今後、常会単位、各種団体などにも対象を広げるべきではないか。

答 定本町長

協働のまちづくりは、町内各地区によって取り組みに差がある。しかし、何をすることが目的ではなく、できることをみんなで行うことが重要である。そのためには、リーダー育成を積極的に行いたい。

提案型まちづくり事業は、22年度は、7月から取り掛かりが遅かった。本年度は、4月当初から説明していく。常会、各種団体を対象にすることは今後、検討したい。



機構改革による統合で手狭になった消防機具庫（第5分団第2部）

質問 不育治療への 公費助成を 早急に結論を 出していききたい

答弁



金谷高子 議員

問 「不育症」は、妊娠しても流産や死産を繰り返してしまふ病気のことである。不妊症に比べて認知度は低く、病院や産婦人科医も少ないのが実情である。聞きなれない病気だが決して珍しい病気ではない。

保険適用外のため、数十万円から百万円くらいの治療費がかかる。適正な検査と治療で無事に出産できるのであれば、公費助成が必要と思うが。

答 村島健康増進課長 不育症のPRは岡山県が不妊専門相談センターを岡山大学の中に立ち上げており、ここで「不妊・不育」ところの相談」という電話相談をしている。

町としてはチラシを支所、保健センターに置き妊婦さんの目の届くところに置いていく。22年度美咲町の名前を出して相談した人はゼロであった。

答 定本町長 将来にわたって不育治療を必要とする人も増えてくる可能性がある。

早急に結論を出していききたい。

「不育症」を知ってください

観光客を どう滞留させるか

問 町長は、観光施設を線で結んで観光客を滞留させたいとの考えであるが、観光客を受け入れる体制はできているか。

答 定本町長 緊急雇用で、観光資源の調査をしてもらう人を一人受け入れる。大手旅行社が美咲町をめぐるとして、たまごかけごはん」と大井和西の棚田、

柵原鉱山資料館、片上鉄道をめぐる旅を商品化した。10月にも旅行社にツアーを組んでもらっている。

サポート福祉の 状況は

問 国のモデル事業である安心生活創造事業サポート福祉の取り組みから2年、地域への対応の状況は。

サポートさんは一〇人が研修を終了されている。高齢者の人はこの取り組みを知らない人が多い、今後どのよう

に知らせるのか。

答 村島健康増進課長 サポートが育

成されているにもかかわらず、その状況が高齢者の耳に届いていないという現実がある。サポート福祉のチラシを作り該当の人に配布する。また、4月の広報で状況を知らせる。

新柵原総合支所に エレベーターの 設置を

問 地域の住民が気軽に集まれる新柵原総合支所。障がいのある人、また高齢者の人が多く利用されると思われる。エレベーターの設置は考えているか。

答 定本町長 一階を役場の事務所、二階を保健センターにして行きたいと思っている。車イスの人も行けるように大きなエレベーターを設置するよう考えている。

質問

中山間整備事業

今後の展開は

総額18億円規模の

事業を計画する

答弁



貝阿彌幸善 議員

基本計画。平成24年度には実施計画を作成し、平成26年度から工事を開始する。

総額十八億円規模となる事業で、15%が受益者と町の負担となる。圃場整備や集落間農道改良、用排水路など、受け入れられるニーズに沿い多くの要望書が出ている事業をもとに計画を立てる。

緊急救急体制は

万全か

美咲町内全域の緊急救急体制は万全か。

中央地域は久米南分署、柵原地域は柵原出張所に高規格救急車を配備している。

旭地域の出張所に高規格救急車と救急救命士を配置して万全を期す。過去より現在、現在より未来へと万全な体制にして行くように考える。

高規格救急車対応でかなり処置出来ると思うが、なお手薄な地域もあると考える。負担金の事もあるが津山圏域消防組合で今後管理の充実を。

を考える。

特産品の

販路拡大策は

特産品の積極的な販路開拓は考えているか。近畿経済圏への観光も含めたPR展開の時期にきているのではないか。

矢木産業観光課長 旭地域では正月用の南天を商品化して京阪神地方に直接出荷している。今後は、特産物販売所と観光客を結びつける方策も考案していく必要がある。

販売促進は一過性ではなく継続性を持たせなければならぬ。地道に推進していくことも大事である。

問

中山間総合整備事業は、農業農村の活性化を図るとともに、地域における定住の促進を目的としている。

平成23年度には新たな中山間総合整備事業の予算として五百万円が計上されているが、その具体的計画は。

答

中山間総合整備事業は、平成13年度から10年間続いた事業だが取り残されたところもあり、平成23年度に



圃場整備はできたが まだまだ課題が

問

高規格救急車対応でかなり処置出来ると思うが、なお手薄な地域もあると考える。負担金の事もあるが津山圏域消防組合で今後管理の充実を。

答

津山、英田圏域救急医療体制推進協議会で休日夜間救急センターの成立を研究し、電話相談や医者常駐

質問 中国銀行移転に伴う善後策を顧客サービスの充実を要望する **答弁**



江原耕司 議員

問

中国銀行の移転に伴い、現在の土地建物を、地元で活用できるように行政に要請していたが、その後の進捗状況はどのようになっているか。

答

定本町長
要望の件について



移転する中国銀行久米支店

中国銀行久米支店長に折衝したが、無償で払い下げる事はできないとの回答があった。今後検討したい。

ATM設置の要望を

問

銀行移転に際してATM機（現金自動預け払い機）も廃止と聞いている。町民の不便、特に高齢者に

答

定本町長
ATM設置については、まず設置基準として銀行から500m以上離れていないと新規設置はできない。

においては限らない嘆きとなる事は必定と思う。あくまで中銀ATM設置が望ましいが、できない場合、他の金融機関にATMを設置するよう求めたいが。



まちの中にATMがほしいのだが（亀太郎会館）

問

久米南町から、亀甲の医院に通院している人がいる。町の巡回バスは、津山中

久米南町巡回バスとの協力は

J A関係も移転設置に五百万円の費用を要するのですぐに決定できない。高齢者の皆さんのことも念頭に今後も要望して行きたい。

答

定本町長
久米南町からのバスは今町内には来ていない。今後、久米南町との協議が必要となるが必ず成就するとは約束できない。

央病院等に行っている。久米南町巡回バスと美咲町巡回バスを連動させれば乗客は多数あると思うかどうか。

質問

防草シートで
草刈り作業の軽減を

あらゆる対策の

考案が必要

答弁



松田英二 議員

問

岡山県美作県民局では県道沿いの除草作業に年間約一億五千万円の費用を投じて建設業者に業務委託しているが、本町の町道などの除草作業はどのように対処しているか。

答

池本建設課長 町道などは、各地区で対応できない所に対して職員による除草剤の散布、緊急雇用促進事業による業務委託で対応している。

問

いう地区も相当出てきている。

高齢化が進む地域にあって毎年の雑草との戦いは非常に厳しいものとなっている。近年ではより優良な防草シートが開発されている。これを活用した草刈り作業の軽減策を実施できないか。

答

定本町長 シートには利点と欠点があるが、生活

問

協働のまちづくりに交付金事業で除草作業などの費用として1kmあたり一万四千五百円が各地区に支給されているが、状況は把握しているか。

答

難波企画財政課長 町内13自治組織の判断によって草刈り、側溝清掃などの費用として有効活用されているものと認識している。

問

各地区で実施されている環境保全活動についてどのように認識しているか。

答

池上旭総合支所長 旭地域の高齢化率は40%を越えている。いくらお金を積まれても対応できないと



これで草が伸びないんです（津山東高校）

環境整備は将来大きな問題となってくる。行政としてあらゆる対策を練っていかねければならない。

フィルム

コミッションで

地域に活力を

問

本年1月に吉ヶ原駅舎においてテレビドラマ「砂の器」の撮影が行われた。映画、ドラマ、CMの撮

影を誘致することで地域振興、観光振興を図るフィルムコミッションについて本町ではどう対応しているのか。

答

矢木産業観光課長 岡山県にはフィルムコミッション連絡協議会がある。本町もこれに加入し県観光課、県観光連盟などと連携しながら活動している。

問

吉ヶ原駅舎には全国で最も古い自動車が見られる。動態保存されている。これらを貴重な観光資源として全国に発信していくことで地域の活力につなげていく考えはどうか。

答

定本町長 25年度をめどに吉ヶ原鉦山公園の改修を予定している。昭和のイメージと鉄道遺産を遺した公園としての存在感を示すことで全国からの集客を目指し、地域振興を図っていく。

質問

統合保育園 検討委員会の設置は

早期の設置に向けて 準備を進める

答弁



林田 実 議員

問

柵原統合保育園建設に向けて関係者、地域との十分な協議はできたか。藤原保育園は約半世紀の歴史があり、地区のシンボリックな存在である。跡地利用も含め、

答

柵原地域において保育園建設は関心の高い事である。23年度中には図面の提示ができる予定。早急に検討委員会を開催し、跡地利用も含め、広くから意見を聞きたい。

定本町長



すくすく育つ子どもたちのために（藤原保育園）

質問

医療型短期入所施設の 県北への早期設置を

答弁

県に対しての働きかけを強化する

問

医療行為を必要とする障がい者などを短期的に預けられる施設は県内に5事業所しかない。そして全てが県南に集中している。県北の行政機関で連携を取り、県に対して、県北部への設置を強く要望していく必要があるが。

答

定本町長
県北に施設は必要である。今後県に対し強く働きかけていきたい。

答

福田保健福祉課長
障害者福祉サービスの許認可権は県にある。福祉サービスの地域バランス向上に向けた活動は重要である。



旭川荘療育センター児童院（岡山市）

質問

外出、移動支援の
検討はできたか

安心安全協議会で

支援を開始する

答弁



岡田 壽 議員

さがある。今後も外出・移動支援のあり方を検討していく。

50人委員会は

継続するのか

問

町長の公約でできた50人委員会。

が4月から申請を受け付けて支援を始める。外出・移動支援にデマンド形式の導入は和気町に先例がある。

運送事業者と協議し、意見が統一できないと前に進めない難しい。

答

定本町長

50人委員会は最終的に47人(中央28人、

柵原14人、旭5人)になった。五つの部会に各課長も参加し熱心に議論した。

報告書の内容は、みさきネットの運営、人口増への取り組み、水道事業のあり方、行政経費節減、支所間バスの料金、ごみの分別の統一化、健康づくり、地域医療の体制、高齢者福祉、障害者福祉、町の歴史や文化など、貴重な意見・提案を受けた。

今後も50人委員会は続けていく。

町民憲章の

制定が必要

問

町民憲章は、町の目指すべき方向、好ましいことを実現するまちづくりの指針となる。

美咲町の町民憲章を制定してはどうか。

答

定本町長

町には「世界にはばたく元気な美咲

町」の基本理念がある。町のあるべき姿を文字にしておくことは必要と思うが、町民憲章などは町の記念すべき節目に制定するのが最善と考えている。

ラジオ体操の

奨励を

問

健康づくりはまちづくりの三本柱の一つ。散在する子どもたちの夏休み中の生活習慣づけには「早起き朝ご飯運動」に加え、ラジオ体操が必要と考える。告知放送での検討を。

答

泉教育長

ラジオ体操は体への負担も少なく良い運動になる。生活リズムの崩れやすい夏休み中に子どもが取り組むことは大切だと思う。一方で、少子化と生活の多様化で全町一斉放送となると異論も考えられる。

答

定本町長

福祉バスなどの路線でサービスの向上に努めているが、全域には行き渡っていない。

買い物に関しては高齢者安心・安全協議会



50人委員会開催風景

質問

10年後の町の姿を
どう描くのか

合併理念と公平性を
保っていく

答弁



小島洋征 議員

問

合併後6年が経過して、合併特例法の期限も23年度を含めて余すところ4年となった。

5年間の経過措置があるものの、10年後には地方交付税八億円減額と試算されており、これに合併後の人口減を加味すると十億円の減額もあると推測される。

その一方で、高齢化に伴う財政需要の増大は避けて通れない。また、町税などの減収も

想定しておく必要がある。

これらの状況を踏まえるならば、いま10年後を見据えた財政計画を立てることは緊急の課題である。

第一に、21年度決算における人件費約十八億円をどうするか。人件費の縮減には、機構改革と事務事業の見直しを進める他にない。目標と方向性を具体的に定める必要があると思うが。

第二に、現在157施設ある公共施設のあり方を吟味し、管理費総額を減額する必要性があるのではないか。

第三に、各種団体に交付されている補助

金、助成金等をどのように統合再編して総額を圧縮していくか。これらの点について、具体的な計画を策定する必要があると思うがどうか。

しも交付税は減額されておらず、また、合併特例債よりも有利な補助事業を受けているようだ。

だから、期限切れ後には、必ず交付税が極



町行政の“かなめ”美咲町役場

答

定本町長

特例法の期限切れ後には、交付税が大幅に減額されるのではとの指摘ではあるが、合併しなかつた近隣の自治体を見ると、必ず

端に減額されるかは疑問に思っている。激変緩和措置も設けられるであろうし、このまま推移するか、徐々に減額ということになるのではないか。

美咲町の人件費十八億円は、予算総額に占める割合として18・4%であり、近隣の類似団体と比較しても、20%を超える自治体が多く、下から2番目の低さである。

本庁方式にすれば、効率的になるとは思うが、住民サービスを考へて、我々は総合支所方式を選んだのだから、合併理念を大切にするとともに、サービスの公平性を保ちながら対応したい。

公共施設の管理費に關しては、消防機構の改革等により、かなり縮減されていると思う。

補助金等の統合、再編等については、類似団体と比べて少し高い位置にあり、旧町時代からの経緯もあり、難しい問題ではあるが、少しは変えていかねばと思っている。

質問

テレビ難民を
つくらないために

広報などで

周知徹底を図る

答弁



梁山朝子 議員

問 地デジへのスムーズな移行で独居・老人世帯のテレビが見えなくなるようなことがないように集中的な取り組みが必要である。

答 定本町長 町の広報誌、民生委員などの活動で周知徹底を図っていく。

民族資料の
展示・保管方法は

問 吉ヶ原地区には収集した文化財が

保管されている。収集された文化財が生かされるよう早急に展示すべきでは。

答 定本町長 旧打穴小学校の校舎一階の四教室を改修して専門に一人の方にお願いして展示する準備をすすめている。展示可能な資料は470点ほどある。

教育環境の充実を

問 各小中学校にエアコンが設置されるが扇風機と併用して省エネに務めてはどうか。

答 泉教育長 併用した方が良いが、今のところエア

コン設置に全力を傾ける。

集団感染防止に
加湿器が必要

問 町内には5つの保育園があるが、すべての教室に加湿器を設置すれば風邪の集団感染の予防に役立つと思うが。ウイルスに対して次亜塩素酸ソーダー水が効果大である。取り入れる考えは。

答 定本町長 かめっこ保育園には全教室に設置されている。しかし、旭保育園では4台、藤原保育園1台、柵原西保育園3台、柵原東保育園1台が不足している。担当課と検討する。

統合保育園
検討委員会設置を

問 柵原西保育園と藤原保育園の統合

にあたって問題点はクリアされているのか、専門家の意見を充分聞いて検討委員会の設置を。

答 定本町長 基本プランができた段階で検討委員会を発足させる。

鉾山資料館に
屋根の設置を

問 砂の器の映画で吉ヶ原が脚光を浴びている。2年後には新駅が出来る予定であり、ぽっぽまつりなどのイベントの時だけでなく利活用ができるように鉾山資料館屋外ステージに屋根の設置ができないか。

答 定本町長 外観のこともあり、今設置は考えていない。鉾山公園改修工事の中で検討してみたい。



子どもたちの健康管理を万全に (旭保育園)

質問

行財政改革

5年間の総括を

公表し次期計画を

策定する

答弁



岩野正則 議員

問 18年度から22年度まで実施した美咲町行財政改革の成果は。

答 難波企画財政課長 職員数は39人減少130%の達成率。人件費の見直し、諸手当の見直し、特別職の給与の引き下げを実施した。

問 第3セクターの運営方針、目的は。

答 定本町長 施設の役割を十分検討している。香花温泉は千五百万

休地の販売促進には補助金を出すことも検討する。

借地は柵原地区が多い、返還や買収の取り組みを続けている。

問 簡易水道・下水道事業特別会計が独立採算出来る合理化推進策が必要である。早期退職した民間の技術者の採用、窓口の民営化など先進地の取り組みを参考にできないか。

答 定本町長 全体の運営経費が年間約十億円かかっている。簡易水道事業の一本化を平成28年度までに実施するように国から指導がきている。

問 平成18年度から22年度までの行財政改革の実施計画の成果をテレビ、広報紙で報告すべきである。数値目標を設定して次期5カ年の行財政改革実施計画の策定を。

答 定本町長 次の計画は総務省の指示に沿って早めに策定する。

問 難波企画財政課長 5年間の総括を早めに公表する。



利用拡大のアイデアを出そう（打穴下ほほえみの湯）

答 定本町長 財政健全化計画と連動している。将来負担比率、実質公債費比率とも関係するので、総務省の方針に沿ったほうが計画書も作りやすい。

問 自主財源確保のために広告収入を増やす、遊休地の処分を進める。

答 定本町長 ポートピアなど公営ギャンブルがいいかどうか、町民の意見を募り、前向きに検討すべきでないか。

問 不景気で個人の山林の寄付の申し出も来ている。さまざまな検討が必要である。

組合議会からの報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域 衛生処理組合

(津山市、鏡野・美咲町)
2月15日、定例会を開催し、23年度一般会計予算五億七千九百六十万円を審議、全会一致で可決した。

津山圏域 西部衛生施設組合

(津山市、鏡野・美咲町)
2月15日、定例会を開催し、23年度一般会計予算二億九千五百万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

久米老人ホーム組合 (静香園)

(津山市、久米南・美咲町)
2月16日、定例会を開催し、23年度一般会計予算一億六千二百七十万円、特別会計予算二千五百五十万円など4

議案を審議、全会一致で可決した。

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)
2月22日、定例会を開催し、23年度一般会計予算三千万円、特別会計予算千三百九十万円など5議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月22日、定例会を開催し、23年度一般会計予算三十億千七百三十万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎23年度で津山・真庭・英田各消防組合の指令系統を一本化する美作地区消防指

令センターを津山消防本部に設置する。

津山農業 共済事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)
2月22日、定例会を開催し、23年度農業共済事業会計予算四億一千万円など8議案を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央・奈義・美咲町)
2月24日、定例会を開催し、23年度一般会計予算一億四千八百八十

柵原吉井英田 火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
3月28日、定例会を開催し、23年度一般会計予算千六百五十万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護 老人ホーム組合 (吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)
3月28日、定例会を開催し、23年度一般会計予算三億三千五百九十万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

中部環境施設組合

(真庭市、美咲町)
3月30日、定例会を開催し、23年度一般会計予算三億九千五百四十万円など2議案を審議、全会一致で可決した。



指令系統が一本化される津山消防本部

津山圏域 資源循環施設組合

(津山市、勝央・奈

万円を審議、全会一致で可決した。

みんなの想いはひとつ

被災地への応援メッセージ

私は阪神淡路大震災を
経験しましたが、何とか立ち直りました。
皆さんも明るい未来が必ず来る事を
信じて頑張ってください。

23.3.26
花咲きますように。
お花はいいね



一緒に前へ進もう！
岡山
エリ  がんばろうニッポン！
2011.4.22 なつこ守

ガンバレ
笑顔
悲しい時、苦しい時こそ
太陽のような笑顔を...
応援しています！
東北

私は宮城県多賀城出身
です。全国の皆様ありかたう
ございます。私の友だちも
たくさん亡くなりました。
東北はまげませぬ
これからおうえんを
よろしく願います。